区内に新しい学科を開設法の制約もあり、東京23	ては、2018年の制定進に関する法律」につい	れて賑わっている」と解	笠原喜明	会長・東洋大学	(3)
計画を進めているが、同	若者の修学及び就業の促	ったのだけれど、逆にそかなが	うを見れば サフのブ	見いる。たが、役員の表	)
私が所属する大学は、	り雇月幾余つ則当における大学の振興及び若者	おいたよざいら かいなまで、 を言えば開発も出来ず、	ヌ 全 見	月ころつこが、 及員の長経営判断を下す機会が5	
きている。	止めをかけた「地域にお	ことを、「ホントのこと	公式に出回っている20	ことをエビデンスとして	
るという皮肉な状況が起	内)の大学の定員増に歯	宿を含む木曽路十一宿の	クから大学入試業界に非	と予想されている。この	第
止を希望しない大学もあ	図で特定地域(東京23区	ね」と話しかけると、二	大手予備校のシンクタン	比で25・0%も減少する	2 8
らの大学の中には法の廃	と、地方の大学を守る意	の人に「すごい人手です	々厳しさを増している。	6年度には2022年度	3 9
ラスの大学であり、それ	地方創生の掛け声のも	陣に立ち寄った時に、係	で、大学業界の苦戦も年	り始め、14年後の203	1 동
けたのは首都圏の中堅ク	きた成果だろうと思う。	を抜けて次の落合宿の本	ば18歳人口になるわけ	が、3年後から大きく減	를 -
あるが)、一番恩恵を受	ませ、工夫を積み重ねて	賑やかである。この2つ	15歳人口は、3年すれ	年間は大きな変化がない	
あり、判定しづらい面も	差別化していくか頭を悩	の1つで、観光客も多く	ない。	る。2022年度から2	
ナウイルス感染の影響も	の質を保証し、他とどう	りは中山道のハイライト	にも着手しなければなら	来予測は極めて深刻であ	
わけではなく(新型コロ	大学も少なくない。教育	馬籠宿(岐阜県)のあた	方改革や部活動の見直し	ある地域の15歳人口の将	(B)
		で、妻籠宿(長野県)、	望され、その一方で働き	務校の附属学校の1つが	召和3
研究集		そう感じてしまう。一方	る生徒への個別対応が要	具体名は伏せるが、本	0年 3
定期		たこともあり、なおさら	が求められ、多様性のあ	めさせていただく。	3月2
J		が同じような地域で生れ	新学習指導要領への対応	て15歳人口のことから始	8日第
聞し		深刻だと実感する。自身	英語の4技能の習得等の	儀のように思うが、敢え	第三種
女 ノハ		地方都市の衰退・停滞は	グラミング教育の導入、	学の話から始めるのが礼	<b>動便</b>
		ることを割り引いても、	であっても例外なくプロ	ることもあり、当然、大	物認
口の地方流出が止まった	事業の採択を受けている	山間地を多く歩く道であ	ぶ。こうした地域の学校	学の理事・事務局長であ	3可)
いるが、この間、18歳人	私立大学等改革総合支援	と思う)が、中山道が中	0%と、厳しい数字が並	本務が学校法人東洋大	
れ、既に4年が経過して	ング上位に名前を連ね、	湖畔に到着していること	5%、定員充足率は71・	る。	
ずである。同法が施行さ	を言い訳にせず、ランキ	らく岐阜県を抜けて琵琶	反して入学手続率は14・	けをいただいたことであ	
であることは明らかなは	小規模だからということ	原稿が載る頃には、おそ	100%に近く、それに	政大学)を通じてお声掛	
確保こそ、取るべき政策	だから、女子大だから、	山道を歩いている(この	私立高校の入試合格率は	前会長の金田淳一氏(法	
	択実績等を見れば、地方	して以来、暇を見ては中	志向が強い当該エリアの	会長に就任したことで、	
とから判断すれば、地方	学ランキングや補助金採	年前に江戸日本橋を出発	向はより強くなる。公立	下、JUAM)の第14期	爿
歳時により顕著であると	が少なくない。各種の大	む余裕はないのだが、4	地方に限定すれば減少傾	人大学行政管理学会(以	汷
も、卒業して就職する22	工夫に努めているところ	でプライベートな話を挟	語られることが多いが、	21年9月に一般社団法	
LJ	ず、地方の大学にも創意	紙面も限られているの	減少は国レベルの数字で	たい。きっかけは、20	Ī
方の人口の減少が、大学	木曽路十一宿に劣ら	る。	15歳人口や18歳人口の	に、まず感謝を申し上げ	育
視する声が多かった。	事である。	苦戦は一層深刻に見え	に見えた。	機会をいただいたこと	
時から、その効果を疑問	説してくれた。個性は大	学、女子大、単科大学の	情が一様に締まったよう	教育学術新聞に寄稿の	学

、職員にはチャンス しかけた場面は、私にも

研究集会はハイブリッドで開催定期総会・はハイブリッドで開催

て、過去4年間の入学定

人口の減少について触れ

比較にならないほど高度

また教学マネジメントは

の知人の遠い昔の記憶 経験(経営者本人や、そ

学行政管理にたずさわる 的、理論的に研究し、大 の行政管理について実践 条で、その目的を「大学

じている。

いる度合いは大きいと感

の発展と継続に寄与して

の活動が地域の高等教育 た活動を続けており、そ

人材の育成をとおして、

毎年9月3日・4日に

や、数少ない事例、例外

冒頭、15歳人口・18歳

員管理を求めるものとし

異なる方法で大学の定

らと思う。

きと感じている。

同法は、早急に改めるべ すら影響を与えかねない

り近い所での教育の質の

エネルギーを、学生によ が、対応に費やす時間と 更と思うものも勿論ある

た。私が大学業界で働き 状況について述べてき

ることを学内で公言して

室牧子先生のファンであ

に14期の成果を報告した れば、任期を終了した後 事参照。機会をいただけ 59号の金田前会長の記

理事や運営委員を中心

地域の特性を活かし

心である。とりわけ、地 が組織的な研究活動の中

区別研究会は地区選出の

JUAMは定款の第3

私は慶應義塾大学の中

改善に回すことができた

ば、現在の大学経営は遥

かに厳しい局面を迎え、

始めた35年前に比べれ

摘する、学校経営の現場 いる。中室先生が都度指

で垣間見られる、「私の

支えていく人材の育成に

員超過率平均により補助 たが、そのことが問題視 化、難化してきている。

い誤った経営判断に遭遇

われる、エビデンスのな

的な出来事)」を元に行

200人の一般社団法人 とうたう、会員数は約1

大学の発展に寄与する」

開催される研究集会は、

コロナ禍の影響を受けて

3年ぶりに対面と非対面

り越えた当学会の研究集 ご 覧いただきたいと思う の実践と研究の成果を、 加いただき)、会員諸氏 でいただき(それが難し 会に、是非とも足を運ん い場合はオンラインで参 久しぶりに対面でお会

う話もある。実行されれ

学省が方針転換するとい

時間を要するわけで、各

**入学には18歳人口に頼ら** 

ータの一番身近にいるの 々なジャッジを支えるデ

前置きだけでほとんど

は大学職員であり、そと

効果が表れるのには長い

マネジメントにおける様 学校の経営判断や、教学

> 社団法人大学行政管理学 学職員の集まりが、一般 策定していこうという大

会であると自負してい

る。

1ールする方向に文部科

っていたとしても、その

ずに来ているが、仮に取

ったと思う。なぜなら、

して抜本的な対策を取ら 間、国は少子高齢化に対

が、我々大学職員にとっ

属する大学の運営施策を て、それらを駆使し、所

ては大きなチャンスであ

ば大きな政策の転換であ

ない大学経営への転換が

求められてきた。主たる

から、より信頼性の高い

が、残された紙面でJU すべてを使ってしまった 可申請を制限したりする 設置や収容定員増等の認 金額を違えたり、学部の

されて半世紀近く経つの

そのことは、各大学にと

学職員であろう。そし

で異なり、そのことが時 ての見解が会員それぞれ

事務局であり、個々の大

ってはリスクに違いない

ではないかと思う。この

政策があるが、今後は「

学定員超過率ではなく 収容定員超過率でコント

> 経験を保有している大学 ぐのは、豊富なデータと ないではない。それを防

であり、大学行政のプロ

フェッショナルが集った

の適正なバランスについ 学会である。実践と理論

過去2年間、対面で開催

できなかったが、今年は ハイブリッド方式で、

る予定である。コロナ禍 が収束しない中で会場を

成蹊大学を会場に開催す

むしろそうでなくてはな が、ダイバーシティ・イ らないと思う。会員の中 ンクルージョンの時代、 に軋轢を生むこともある 提供していただいた成蹊 次第である。 とともに、コロナ禍を乗 大学のご厚意に感謝する

のを、年1回学会誌とし 果を論文等でまとめたも の学位取得者も年々増え く第26号が発刊される予 て発行しており、まもな ている。会員が研究の成 個人レベルの研究活動

とは別に、全国を8つの にしています。 いできることを、楽しみ

なり」の観点で第13期を

が進んでいる学校法人ガ

うが、先を見て対策を講

レント教育の推進だと思

だから(参考までに、私

活動方針は、「継続は力

が会長を務める第14期の AMについて触れる。私

定である。

私たち大学職員であるの

エビデンスを作れるのも

の所属する大学では、

20

ハ学院教育の拡充、リカ

免許更新制の廃止や、い

この件に限らず、教員

対策は、留学生の確保、

ま私立学校法の改正準備

ここでは触れない (28 基本継承しているので、 会、12のテーマ別研究会

0人減じなければならな

成する学部の定員を10 するのに、IT人材を育

バナンスの改革等、中期

じてきた大学と、目先に

る課題の1つであるDX った。現在の日本の最か

ることになる。必要な変

等教育を取り巻く厳しい

題をあちこちに振り、高

と、ここまで敢えて話

理事である)。

ったが、現在は教職員理

事7人のうち3人が職員

年前に職員理事はいなか

大学はその対応に追われ 振れ幅は小さくなく、各 的に見て教育科学政策の

> 差が開いてしまった。 追われた大学とで大きく

を、情報技術を活用して